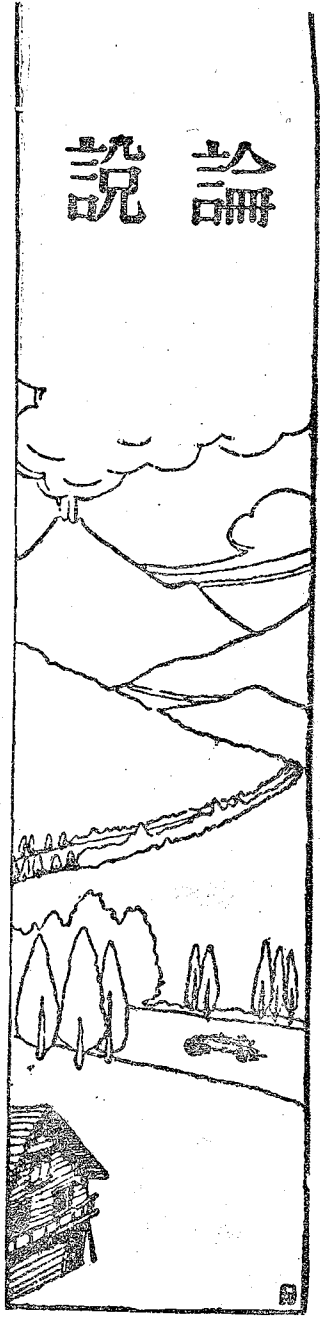


論 說



道路改良と交通道德



道路改良會理事

桐

島

像

一

其の昔、羅馬の盛時に歐羅巴各國では、天下の大道は羅馬に通ずと云つたさうだが、是れは羅馬が道路を始め各種交通機關の改善發達に意を注いだことを語るものである。シカシ羅馬が路政に重きを置いたのは、四隣を従へ之を統治する必要より起つたもので、今日の道路の開鑿、其の改良などと云ふことと

は、多少其の意味を異にするが、何れにしても道路の改良は昔より重きを置かれたことで、各種交通機關の發達したる今日でも、道路の改良は一日も忽諾に附すること能はざるは勿論の事である。

二

北米合衆國に於ける諸都市の建設の如き、無人の境に手を著けたのであるから、第一に道路を開き、第二に上下水道を設け、第三に交通機關の施設を爲し、最後に家屋の建設改良に取掛ると云ふ様に、都市計畫上正しき順序を踏むことが出來、又た我新領土及び租借地でも略ほ同様の意味で、理想に近い施設を爲すことも出來たが、内地殊に東京市内の道路、其他交通問題の處理は難中の難事である、建設の當初に遠大の計畫があつた譯でもなく、繼ぎ足しに繼ぎ足しを重ね、數百年間殆んど成行に任せて擴張せしめたのも同様だから、始末が悪い、殊に近年の膨脹は著しくあらゆる施設に改良を加ふる必要に迫られ、路面改良、地下埋設物工事、架橋工事等、走馬燈の如く仕事に追ひ立てられ、而かも四六時中其の間を人も車も往來して居るのであるから、工事を爲す者も困難であり、交通を爲す市民も不便を感ずる、東京市は此の過渡期に際會して居るのであるから、路政の擧ると擧らざるとは、單に行政や技術の良否のみではなく、市民の精神的訓練即ち理解と忍耐とに待つ事が多いのは申すまでもない。

三

東京市は五千萬圓の豫算を以て六間以上の道路は悉く鋪裝工事を爲すべき計畫を立て着々實行し

て居るから、是れは漸次完成に近づくことと思ふ。道路の完成は最も大切な事であつて、一日も忽せに爲し難いと同時に、今一つ甚だ大切なことは此の道路を利用する市民の道徳觀念の發揚である。曾て後藤子爵は、道路の改良は最も急を要す然れども市民各自の自己改造が之と並行せねば其の效は擧らぬと云はれた誠に同感であつて、交通道徳の缺乏せる市民に對しては、改良されたる道路も其の價値を半減されるであらう。警視廳が多くの費用と努力とを費しつゝある交通整理も、市民が今少しく交通に對して理解と節制とを有したならば、交通事故も半減するであらうと思ふ。

四

交通事故は訓練の不足から來るものが多い、無頓着に車道を歩いて車と衝突し、十字街に於て巡查の台圖を待たずに驅け出して、不慮の災害を蒙る等は、一に訓練の不足から來るのである、自分は此等の訓練及び道徳の修養を小學兒童から普及したいと思ふ、此考へは甚だ迂遠のやうであるが實は迂遠でない、小學兒童は聽ては帝都の市公民である、且つ幼時に叩き込まれた教育や躰即ち訓練は永く腦裏に刻みつけられ、遂に習性となつて、長じては何の努力もなしに道徳も守ることが出来るやうになる、自分等は及ばずながら此の方面の宣傳を爲すべく、若干の同志と共に運動して居るのが、交通道徳會である。

此の機會に一言したい事は歩道の完成である、先頃獨逸から歸つた人の話に依れば、獨逸では如何に狭い往來でも歩道が設けてある、尤も狭い道路では歩道は片側だけしかない、且つ歩道の幅は狭い所は二三尺で、人が往きかふにも身體を斜にして譲り合はねば通れぬ位の幅であるが、ソレでも有效である、

歩道の無いと云ふことが、人をして車道を歩ましめるダラシナイ癖を付け歩車道の區別のある立派な道路に於いても、尙ほ且つボンヤリ車道を歩む人が多い原因となるのである。歩車道の區別のない所には早く歩道を設け、又た從來歩車道の區別のある所には、車道よりも先に舗装すべしと云ふのは予の宿論であつて、曾て道路改良會に此の趣旨を以て建議したことがあつた様に記憶して居る。車道は重量品を積載する車輛も通るので、其の構築舗装にもナカ／＼手数が掛るが、之に反し人間の歩むだけの歩道は基礎工事も容易で、從て舗装工事も早く出来る筈であるから、何よりも先に歩道を完成し、因て以て車馬行人交錯紛糾するの亂雜を避けたいと云ふのが、前申す通り予の宿論であつて、今尙ほ渝らざるのみか、マス／＼其の必要を痛感する次第である。

五

先頃から市の道路局では横斷路を市内各所に新設した往來を横切る際には是非一定の所に於てする習慣を附けたい、丸ビル明治屋の角から向ふ側の一時大丸の店になつて居た方に向て横切る所や、勸業銀行前と日比谷公園との間の如き其の一例である。標示の杭を立てゝあるが、未だ一般に徹底して居ないやうである。此の横斷路も漸次市内各所に設けらるゝのであるが、是れも前述の如く設備が出来ても之を用ゐる者が無頓着であつては改良の効果が甚だ乏しい。

自分は切に道路の改良を希望し、同時に道路を通行する市民の道徳向上を希望して止まないものである。